

横浜市消費生活総合センター

学生さんは、特にご注意を！  
楽しんで稼げるうまい話は、  
ありません！

# 「消費生活相談の動向 2019」を発行 「稼げるノウハウ」トラブル急増中！

## 「稼げるノウハウ」トラブルとは？

「アフィリエイト※<sup>1</sup>で稼ぐノウハウ」や「FX※<sup>2</sup>などのAI投資ツール」「画像をSNSへアップするだけで小遣い稼ぎ」「ギャンブルの必勝法」「仮想通貨で稼ぐ方法」など、ノウハウなどの情報そのものが商品で、情報媒体はPDFファイルやUSBメモリが多い。

きっかけは、友人知人からや、SNSの広告や動画サイトから、副業のメルマガからが多く、「すぐに元が取れる」と言われ、高額な金額を支払い情報を購入するものの、実際には思うように稼げずトラブルになるケースが後を絶たない。（図1参照）



## 分析結果から判明した特徴

- 1 契約者の年代・性別をみると、20歳代男性と50歳代女性が多い。また、成年年齢の20歳をすぎると顕著に増加！（図2参照）
- 2 きっかけは、20歳代は友人から勧誘されるケースが多く、30歳代以降はSNSやネット広告、メルマガから契約に至る場合が多い。（添付資料p3参照）
- 3 契約金額は「10万円～100万円未満」がボリュームゾーン。20歳代のほうが他の年代より契約金額が高額！（図3参照）
- 4 若者の「クレジット・サラ金強要商法」被害のほとんどが「稼げるノウハウ」だったことが判明！しかも6割以上は学生！（添付資料p.6参照）



社会経験の浅い若者が、ローンを返済できなくなったために信用情報に傷がつき、「携帯電話の契約ができなくなる」「クレジットカードを作れなくなる」「住宅ローンを組めなくなる」など将来にわたり悪影響を受ける可能性もあり、大変深刻です。

今後成年年齢引き下げにより、上記のようなトラブルが18歳・19歳に広がることが懸念されます。



※1 インターネットを利用した広告宣伝の一つで成功報酬型の広告のこと

※2 外資投資の一つで、外国為替保証金取引(外国為替証拠金取引と同義)のこと

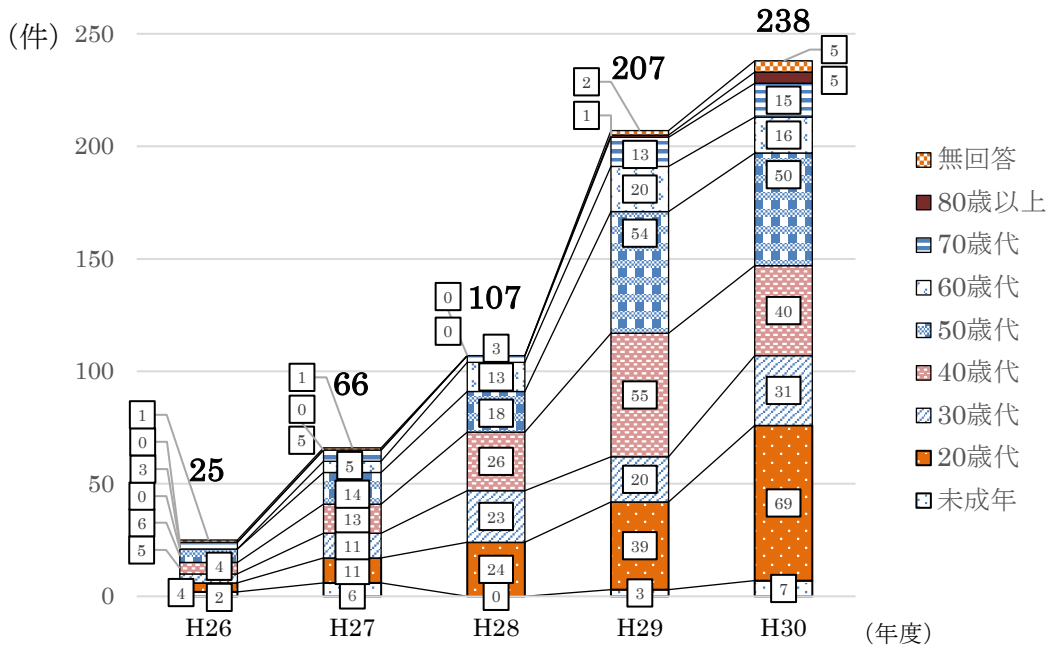
### 添付資料 「消費生活相談の動向 2019」【概要版】

横浜市消費生活総合センターに寄せられた相談（平成30年度実績 22,065件）について、分析を行いました。今年度は急増する「稼げるノウハウ（情報商材）トラブル」について特集しています。

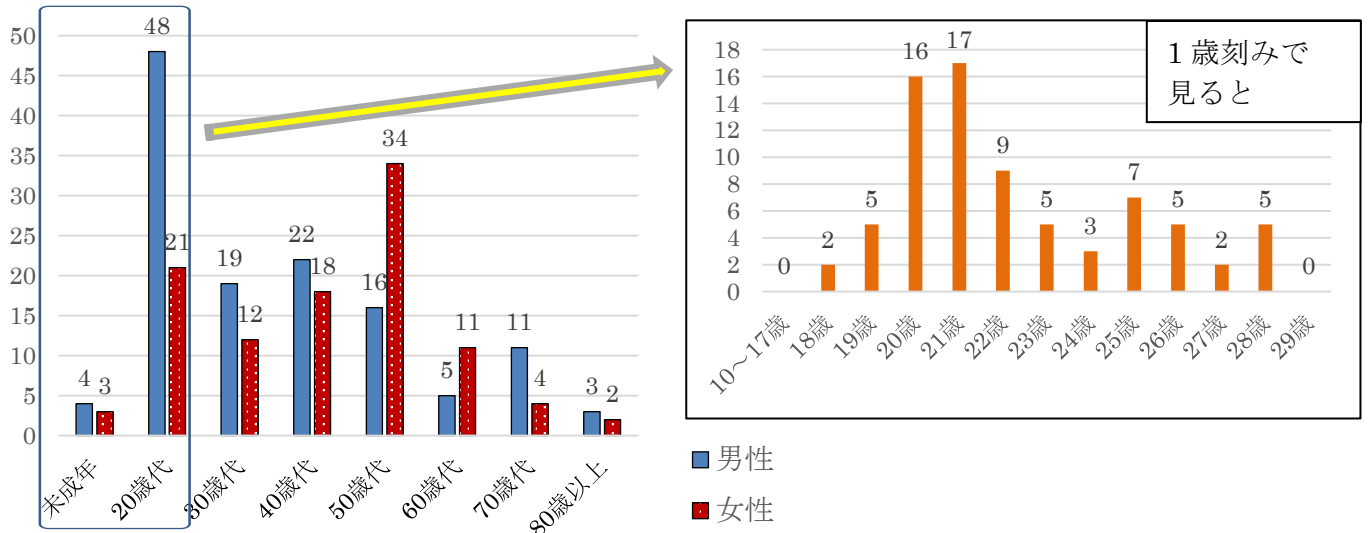
※【本編】とともに横浜市消費生活総合センターホームページからダウンロードできます

URL：<https://www.yokohama-consumer.or.jp/>

【図1】 過去5年間の「稼げるノウハウ」（情報商材）に関する相談件数の推移

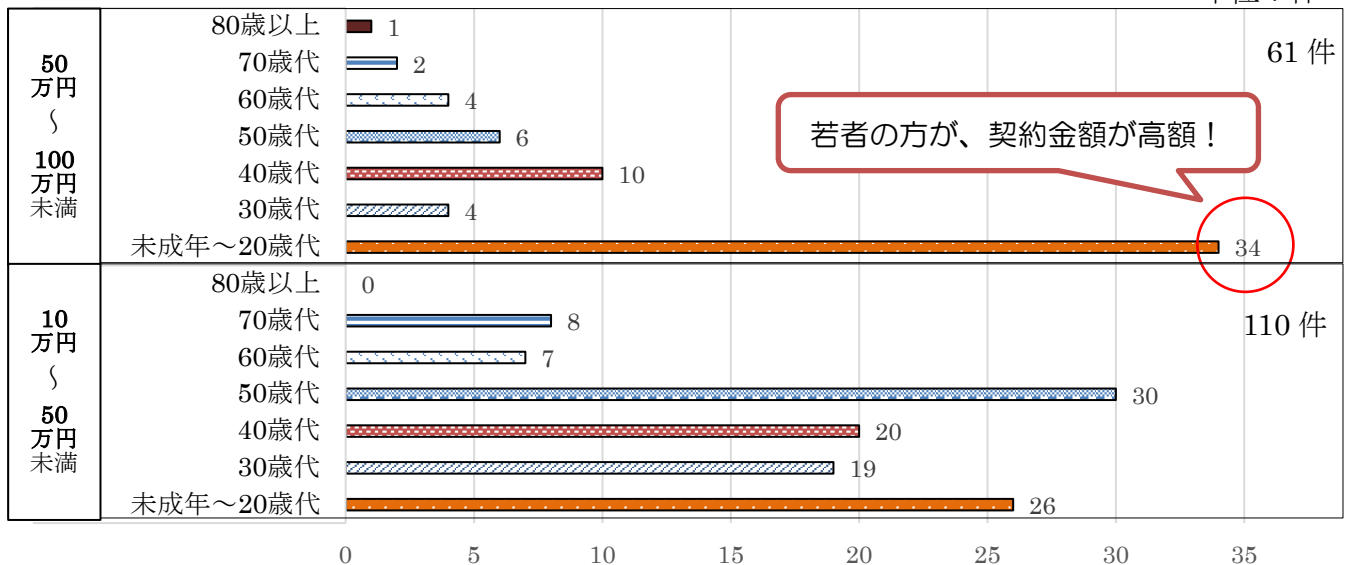


【図2】 平成30年度「稼げるノウハウ」（情報商材）に関する年代別・性別相談件数



【図3】 平成30年度「稼げるノウハウ」（情報商材）の年代別契約購入金額

単位：件



お問合せ先		
経済局消費経済課長	津留 玲子	Tel 045 - 671 - 2573
横浜市消費生活総合センター長	大澤 吉輝	Tel 045 - 845 - 5708